

平成24年 12 月 2日

| N3クラス 報告書 | |
|---|------------------------------|
| 授業実施日 | 11月 6日 (火) |
| 時間 | 19:00~21:00 |
| 担当者 | |
| 指導内容 | 文字・語彙、文法、読解、聴解 |
| 使用教材 | 『スピードマスター』(文法、文字・語彙・読解)、絵カード |
| 1.文字・語彙： ・前回行った第1回模擬テストのFB。正答以外のことばとの意味や用法の違い。 適切な他のことばは何か考える。 | |
| 2. 文法： ・～とは限らない | |
| 3読解:長文の内容理解 段落ごとにポイントを押さえて、内容を読み取る。 | |
| 気付いたこと:学習者の理解度、参加度 または 反省補足など | |
| ●文字・語彙:意味が似ていることばを正しく使い分けるのが難しかったようだ。 他の適切なことばを考えさせると、結構知らないものも多く、語彙をふやすことの重要性を改めて感じた。 | |
| ●読解:本文の内容を記述からイメージするのが難しく、図を書くと理解できた。 しかし、時間がかかった。 | |
| HW. 連絡事項等 | |
| HW:①文法のテキストの「敬語」「実践練習1」 ②漢字プリント12・13 | |
| その他、備考 | |
| 県教委から大勢の方が見学に来られましたが、出席者が少なく残念でした。しかし、出席した学習者はいつも通り熱心でした。 | |

平成24年 12 月 2日

| N3クラス 報告書 | |
|---|----------------------|
| 授業実施日 | 11月 13日 (火) |
| 時間 | 19:00~21:00 |
| 担当者 | |
| 指導内容 | 文字・語彙、文法、 |
| 使用教材 | 『スピードマスター』(文法、文字・語彙) |
| 1.文字・語彙 :第2回模擬テストの実施とFB | |
| 2. 文法:HWにしてあった「敬語」と「実践練習」のFB 謙譲語と尊敬語の意味や動作主について指導。 | |
| 気付いたこと:学習者の理解度、参加度 または 反省補足など | |
| ●文字・語彙:意味が似ていることばを正しく使い分けるのが難しかったようだ。 他の適切なことばを考えさせると、結構知らないものが多く、普段の発話につかえるような練習の場を作る必要性を感じた。 | |
| ●文法:尊敬・謙譲の意味や同じ動作を表すのに動作主によってちがうことを初めて知ったようで、熱心に聞いていた。 | |
| HW. 連絡事項等 | |
| HW:①読解模擬試験から3題 ②漢字プリント14. 15 | |
| その他、備考 | |
| 今年、能力試験を受ける中学生2人に、来週と再来週模擬試験をすることを電話で連絡しました。 | |

平成24年 12 月 2日

| N3クラス 報告書 | |
|---|------------------------------------|
| 授業実施日 | 11月 20日 (火) |
| 時間 | 19:00~21:00 |
| 担当者 | |
| 指導内容 | 模擬試験 |
| 使用教材 | 「日本語能力試験完全予想問題N3」(The Japan Times) |
| 1. 聴解練習:即時応答 15分(質問などの短い発話を聞いて、適切な返事を選ぶ。) | |
| 2. 試験の注意 | |
| 3. 実際の試験形式で模擬試験を行う。(言語知識・読解 100分) | |
| 気付いたこと:学習者の理解度、参加度 または 反省補足など | |
| ・ 受験予定者は時間内に全問取り組めたが、そうでない学習者は最後までできなかった者もいた。特に漢字が読めず読解ができなかったようだ。また、仕事の関係上遅れてきた学習者がいたが、文字語彙は規定の時間でできた。 | |
| ・即時応答は短い発話に対する返事を選ぶ問題だったが、敬語に関係するものに間違いが多い。やはり普段使用することが少ないと思われる。 | |
| HW. 連絡事項等 | |
| HW:①文法テキストの模擬試験 ②漢字プリント16. 17 | |
| その他、備考 | |
| ・ 中学生の1人が学校の定期テスト直前でしたが、模擬試験を受けに来ることができました。 | |

平成24年 12 月 2日

| N3クラス 報告書 | | | |
|---|------------------------------------|-----|------------------------|
| 授業実施日 | 11月 27日 (火) | 時間 | 19:00~21:00 |
| 担当者 | | 出席者 | 5名(うち1名はN2クラス在籍のN3受検者) |
| 指導内容 | 模擬試験 | | |
| 使用教材 | 「日本語能力試験完全予想問題N3」(The Japan Times) | | |
| 1実際の試験形式で模擬試験を行う。(聴解 40分) | | | |
| 2. 前回・今回の模擬試験のFB 主に文法を中心にFBし、他は解答と聴解のスク립トを配布し、各自家で確認してもらう。 | | | |
| 気付いたこと:学習者の理解度、参加度 または 反省補足など | | | |
| 聴解は全体に他の分野よりできたが、受験予定者ではない学習者は、ふつうのスピードでは聞きとることが難しかったようだ。 | | | |
| HW. 連絡事項等 | | | |
| なし | | | |
| その他、備考 | | | |
| ・ 中学生の1人が学校の定期テスト中でしたが、模擬試験を受けに来ました。 聴解の試験を受けた後、解答を渡して、先に帰らせました。 | | | |
| 《 模擬試験結果 》 | | | |
| ・受験予定者: 180点満点中、122点、115点で2人とも合格圏内に入っています。 うち1人(N2クラス)は前回仕事の関係で遅刻してきたのにも関わらずです。 | | | |
| ・受験予定者以外: 講座開始時のN3テストと比べると、1人は文章の読解、1人は文字語彙で伸びが見られました。 | | | |